

日本の文化

ZHALMUKHAMBET SHOLPAN

俳句

- 俳句は近世に発展した文芸である俳諧連歌、略して俳諧から生まれた近代文芸である。室町時代に流行した連歌の遊戯性、庶民性を高めた文芸が俳諧で、17世紀に松尾芭蕉が出てその芸術性を高めた。
- なかでも単独でも鑑賞に堪える自立性の高い発句、すなわち地発句を数多く詠んだ事が後世の俳句の源流となる。

- 日本の詩歌の伝統をひきついで成立した俳句は、五・七・五の拍(モーラ)による言葉の調べ(韻律)と「季語」と「切れ」によって、短い詩でありながら心のなかの情景(心象)を大きく広げることができる特徴を持っている。

日本

MATSUO BASHO

• 枯れ枝にからすのとまりけるや秋の暮れ

• KAREEDA NI KARASU NO TOMARIKERI YA AKINOKURE



- **НА МЁРТВОЙ ВЕТКЕ
ЧЕРНЕЕТ ВОРОН.
ОСЕННИЙ ВЕЧЕР.**

***ПЕРЕВОД КОНСТАНТИНА БАЛЬМОНТА,
ОПУБЛ. 1916***

- **НА ГОЛОЙ ВЕТКЕ
ВОРОН СИДИТ ОДИНОКО.
ОСЕННИЙ ВЕЧЕР.**

ПЕРЕВОД ВЕРЫ МАРКОВОЙ

どうもありがとうございました！